

# 団体戦引率教諭・連絡会議

日時 8月17日(土) 午後2時

場所 岩瀬スポーツ公園 東コート・管理棟

〒931-8332 富山県富山市森5丁目1-17

TEL 076-438-4880

☆☆☆☆☆☆ 次 第 ☆☆☆☆☆☆

## 1. 開会挨拶

## 2. 役員紹介

## 3. 確認・協議事項

### ①登録選手の変更について

原則として認めない。(診断書のある場合は認める)

### ②試合方法について

全試合1セットマッチ

### ③試合順序について

ダブルスNo.2、No.1、シングルスNo.3、No.2、No.1の順とする。

### ④オーダー並びに記録の提出について

監督(引率教諭)は、試合前にオーダー用紙を1部切り取らずに、本部に提出すること。本部のオーダー確認後、対戦校用オーダー用紙を受け取り、プレマッチミーティングにおいて、オーダー用紙を対戦校と交換する。

記録用紙は、各対戦校監督へ1部ずつ配布され、試合ごとの結果を記録し、最終試合終了後に勝者校監督が敗者校監督の確認サインをもらい、本部に提出すること。

勝者選手は、試合ごとに結果を本部に報告を行うが、ボールとネームプレートについては、勝利校監督が記録用紙と共に本部へ提出すること。

### ⑤審判について

セルフジャッジを基本とする。

### ⑥試合コート面数について

原則として1対抗戦は、同一コートまたは、隣接コートで行うが、進行状況により他のコートを併用することがある。

### ⑦ベンチコーチについて

登録されている監督(引率教諭)または、選手に限り、各コート1名とし、コートの定められた位置(ベンチ)にいること。

助言・指導は、エンドチェンジの時だけであるが、団体戦特別ルールとして1ゲーム終了後の指導・助言を認める。

タイブレーク中は、助言・指導はできない。

### ⑧試合開始・終了時の挨拶について

試合開始時に対戦チームは、ネットを挟んでサービスラインに整列し、ネット近くの歩み寄り挨拶を行う。

全対戦試合終了後の挨拶は、最終試合が行われたコートにおいて、対戦チーム同士が挨拶をして終了する。

### ⑨ウォーミングアップについて

3分間とする。(トスが終わってから3分間である。)

### ⑩ボールチェンジについて

1対戦(1セット)に2個とし、若番チーム監督が管理をする。

### ⑪負傷について

テニスルール通り、トレーナーの到着後3分間の手当時間を認める。

### ⑫勝敗決定後の試合について

1回戦は、全試合行う。その他は、ポイント決定後打ち切りを原則とする。

### ⑬選手の欠場について

出場選手は、必ずコート近くで待機していること。コートが空いて15分以内にコートに入らない場合は、失格となる。(不戦敗)

### ⑭服装・用具について

全国中学校テニス連盟 服装・用具のコードに記載された服装・用具を使用すること。

※この規定は、監督(引率教諭)にも適用される。

### ⑮ゴミについて

ゴミは、原則各自で持ち帰ること。

### ⑯感染症対策について

手洗い・うがい・手指消毒を心がけ、各自で対策を行うこと。

## 個人戦注意事項

1. 出席：プレーできる服装になって、定刻10分前までに競技本部に確認を受けること。

定刻までに確認を受けない選手は、失格とする。

2. 試合開始：試合進行表(オーダーオブプレイ)に従って、各自コートに入ること。

若番選手は、本部からボール・ネームプレート・リボンのセットを受け取り、試合に入ること。

前の試合15分以内に入らないと失格になる。

3. 試合方法：①シングルス、ダブルス全試合、1セットマッチ。

②ダブルスのペアは、同一中学校とする。

※すべてのプレーヤーを公平に扱う。

※本要項は、天候等やむを得ない事情により、変更されることがある。



## 個人戦注意事項

4. ウォーミングアップ：3分間とする。
5. 結果報告：試合終了後、勝者がボール・ネームプレート・リボンのセットをまとめて、すみやかに本部に結果を報告すること。
6. ウェアー・用具：全国中学校テニス連盟 服装・用具のコードに記載された服装・用具を使用すること。
7. 審判：セルフジャッジを基本とする。
8. 使用球：AO（オーストラリアンオープン）／1試合2球使用
9. 参加料：1名または、1組6,600円（税込）を出場の初日に大会本部受付へ納めること。
10. 天候：天候が悪く、試合があるかわからない時も、いったん会場に集まること。
11. 日程変更：翌日の試合がある時は、次の日程をレフェリーに必ず確認をすること。
12. コーチング：試合中は、いかなるアドバイスも受けてはならない。
13. ゴミについて：ゴミは原則各自で持ち帰ること。
14. アンパイアのつかない試合規則

### 【選手の義務】

#### 1) 試合の前に

- (1) 「ネットの高さは正しいか」「シングルス・スティックが立っているか」等、コートが試合に適しているかどうかの確認をして試合に入る。
- (2) ウォーミングアップの前に、トスをする。

#### 2) 判定とコール

- (1) ネットから自分の側のコートに関する判定は、すべて自分の責任である。
  - (注1) 自分で判定できなかったときは、そのボールはグッドである。ただし、相手にその判定に対してアドバイスを受けてもよいが、相手のそのアドバイスは最終となる。決して観客の助けを借りてはならない。
  - (2) 判定とコール「アウト」、「フォールト」等は、瞬間的に、また、大きな声と明確なジェスチャーで行わなければならない。
  - (注1) ダブルスの時の判定とコールは、ペアのいずれか一方が行えば、それが最終となる。ただし、ペアの一方が「アウト」（または「フォールト」等）とコールしたが、そのパートナーが「グッド」とした場合、1度目は、「レット」とし、2度目から失点となる。
- また、一方が「フォールト」とコールしたが、パートナーが「レット」とした場合は、「レット」となる。
- (注意2) 「明確なジェスチャー」とは、片方の手を大きく上へ上げるものとする。

#### 3) カウントのコール……サーバーの義務

- (1) 新しいポイント、新しいゲームの始まる前には、サーバーは、必ず、レシーバーに聞こえるように大きな声で、カウントをアナウンスしなければならない。
  - (注1) レシーバーは、サーバーのカウントのアナウンスに対して、同意を示すために、声（「OK」、「ハイ」等）または、ジェスチャー（「大きくうなずく」、「手をあげる」等）によって、合図をサーバーに対して送らなければならない。
- サーバーのコールの後、レシーバーがサーバーに対して何の合図もなしに、サービスに対する返球の構えに入ったら、レシーバーは、サーバーのそのカウントアナウンスを認めたものとみなす。
- (注2) カウントアナウンスの例を以下に示す。
- ①新しいゲームの始まる前に、サーバーは必ずそれまでのゲームカウントをアナウンスする。
  - ②ポイントのカウントは、アンパイアのアナウンスと同じでよい。ただし、次のポイントが始まる前にコールすること。
  - ③タイブレイクのときも、アンパイアのアナウンスと同じでよい。

#### 4) サービスのレット

…レシーバーおよびサーバー（ダブルスの場合、そのパートナーを含む）がレットをアナウンスすればそれが最終となる。

#### 5) フットフォールト

…レシーバーから見て、どう見てもサーバーがフットフォールトを犯しているとは判断したときは、すみやかにロービングアンパイアを呼び、事情を説明して、善処してもらうことができる。

#### 6) 次の場合はレフェリーまたはロービングアンパイアにすみやかに申し出る

- (1) 試合中、トイレ、着替え、用具の不具合などでコートを離れるとき。
- (2) 相手プレーヤーの言動やジャッジ、アナウンス、フットフォールト等に疑問、不服があるとき。
- (3) プレーヤー同士で解決できないようなトラブルが起こったとき。

#### 7) 試合が終了したら

…勝者は、本部から受け取ったボール・ネームプレート・リボンのセットをまとめて持参し、スコアを大会本部へ報告しなければならない。

15. 保険：スポーツ傷害保険にできるだけご加入ください。